

臨床医学研究のお知らせ

板橋中央総合病院では、将来の医療を向上させるため下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを望まない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名	悪性新生物に伴う脳梗塞(主幹動脈閉塞)に対する経皮的血栓回収術の有効性に関する研究
研究責任者	板橋中央総合病院 脳神経外科 診療部長 三浦直久
他の研究機関および各施設の研究責任者	高島平中央総合病院 脳神経外科 荒井信彦
研究の対象	2015年1月1日から2025年5月31日まで、高島平中央総合病院並びに板橋中央総合病院で、活動性の悪性新生物罹患患者が脳梗塞(主幹動脈閉塞)となり経皮的血栓回収術を実施した患者さま
研究の目的	脳梗塞は血管が閉塞し、その先の細胞が血流不足により壊死してしまうことで本来その細胞が担う機能を失ってしまう病気です。最近は大血管が閉塞した場合はカテーテル治療による経皮的血栓回収術の適応が拡大しています。一方で高齢化が進むことで癌患者の絶対数は増加しておりますが、癌に伴う特殊なタイプの脳梗塞が増えている現状があります。癌患者に対する同治療のエビデンス＝医学的根拠(研究による証明)は不十分な状態であり、その有効性を検討することが求められています。本研究では癌に伴う特殊タイプの脳梗塞に対してカテーテル治療が有効を明らかにすることを目的とします。
研究の方法	診療録に記載されている情報を用いて活動性癌に関連する脳梗塞に対して血栓回収術が有効か否かとその予後因子を検討します。
研究期間	承認後～2026年3月31日
研究に用いる試料・情報等	「年齢」「性別」「入退院日」「在院日数」 「採血値(BNP,Hb,HbA1c,Cre,CRP,WBC,D-dimer,腫瘍 marker)」 「神経所見(NIHSS など)」「MRI 所見(閉塞血管、DWI-ASPECTS、出血)」 「契機病名」「病名」「手術手技(使用器具や器具使用回数、器具使用方法)」「手術日」「退院先」「退院時 mRS」「3ヶ月後 mRS」「悪性新生物の既往、原発巣、ステージング、転移有無」など。
個人情報の取り扱い	利用する情報から患者さまを特定できるような内容は削除します。研究成果は学会等での発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる情報は使用いたしません。
お問合せ先	高島平中央総合病院 脳神経外科 荒井信彦 電話番号 03-3936-7451 板橋中央総合病院 脳神経外科 診療部長 三浦 電話番号:03-3967-1181